

2-1 伊澤 鋭祐

『小学五年生』 重松 清著

17篇のショートストーリーを収録している、もう子供としては扱ってほしくない高学年らしさが出ている。誰もが経験したことがあることが描かれている。



2-3 八代 衣織

『オーダーは探偵に〜謎解き薫る喫茶店』 近江 泉美著

就職活動に疲れた女子大生の小野寺美久が、不思議な喫茶店「エメラルド」に迷い込んだ。そこには少し変わったマスターと、王子様のように美形けどとても腹黒い青年が探偵を務めるところだったのだ。短篇の推理小説です。小説全体の雰囲気がとてもかわいらしいです。



2-7 菊池 葉耶斗

『アルジャーノンに花束を』 ダニエル・キイス著

幼児並みの知能しか持たないパン屋の店員が、ある日脳手術をしたことで大天才になっていく。しかし、知能があがるにつれ、今までの自分の立場に気づいてしまい……。天才になり、すべてが叶ったように見えたが、そのため自ら孤独に陥るところに考えさせられる。



2-1 菊池 翔太

『新世界より 全2巻』 貴志 祐介著

舞台は、1000年後の日本。「呪力」という力を使えるようになった人類。一見理想的な世界の裏で人類が歩んできた歴史が主人公たちの半生とともに明かされていく。ファンタジーとミステリーを合わせたような独特な世界観が魅力的です。



2-4 小澤 帆斗

『ハリー・ポッターと死の秘宝 上下巻』 J・K・ローリング著

ハリーと宿敵ヴォルデモートの最終決戦。ヴォルデモートを滅ぼす唯一の方法である分霊箱の破壊をするため、仲間たちとともに度々に出るハリーだが。今までわからなかった全ての謎が次々と明かされていくところが見どころ。



2-8 江尻 澤奈

『ピカミンチ—LIFE IS HARD だけど HAPPY』 河原 雅彦著

東京湾を埋め立て建設されたマンモス団地「八塩団地」。3本の橋のみで“東京”とやっと繋がれた陸の孤島ともいえるここでの5人の若者のお馬鹿な青春ストーリー。こんな青春を一度してみたい。そう思える面白い物語。



2-2 梶山 茉美

『Bad ∞End ∞Night 全2巻』 ひとしずくP著

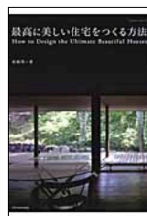
とあるきっかけからピュルレ座の劇の主役となったミク。その劇場で自分宛ての手紙を拾い気を失うが、目が覚めるとそこは劇中の世界そのものだった。各キャラクター同士の関係性や、その劇中での役割に注目して読んでみてください。



2-5 塚本 拓水

『最高に美しい住宅をつくる方法』 彦根 明著

建物の形を決める間取り、住まいの雰囲気を決める窓、家の顔と言われる玄関、美しい部屋の作り方などが一級建築士によって書かれています。仕上げ技まであり、将来、建築士を目指す人には必見です。



2-8 柴田 七海

『万能鑑定士Qの事件簿 全12巻』 松岡 圭祐著

東京23区を侵食していく不気味な力士シールの謎を追う記者の小笠原は「万能鑑定士Q」を訪ね、そこで鑑定家「凜田莉子」と出会う。瞬時に万物の真価・真贋・真相を見破る能力を持つ頭脳派ヒロインが真相を解明していくミステリー小説。



2-9 大友 崇史

『オール』 山田 悠介著

一流企業に就職したが、1年経たずに辞めてしまった健太郎。バイトで「なんでも屋」の仕事を始めた。個性的なメンバー揃いのそこには犬の散歩や、部屋の片付けで報酬500万など様々な依頼がくる。そしてメールで届いた「私を見つけて」という奇妙な依頼が…。何でも屋稼業が面白い。



2-2 緑川 佳奈

『トリツカレ男』 いいしんじ著

何かに夢中になると、寝ても覚めてもそればかり。その実力は超一流。そんな「トリツカレ男」のジュゼッペが、風船売りの少女ペチカに恋をして彼女のために尽くしますが…。本気で何かに夢中になることの素晴らしさを、あらためて気付かされる作品です。



2-5 安藤 匠真

『四十九日のレシピ』 伊吹 有喜著

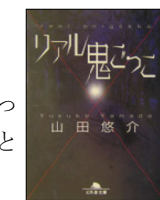
料理上手な妻の乙美を亡くし、氣力を失っていた良平の元に、「イモト」という女の子が突然現れた。彼女は、乙美が作っていた「レシピ」の存在を良平に伝えに来たのだった。誰もが驚く衝撃の展開に、あなたも絶対とりにこなるはず！



2-9 茂又 悠太

『リアル鬼ごっこ』 山田 悠介著

「佐藤」という姓を持つ人が次々と殺されていく。だが、その中の一人佐藤翼によって命令を下している国王の正体が暴かれる。「佐藤」という名前のせいで殺されるというストーリーがリアルで怖い物語です。



2-3 北野 真奈

『火垂るの墓』

野坂 昭如著

第2次世界大戦のまったただ中、裕福な家庭に生まれた2人の兄妹が、両親の死、親戚のひどい扱いに耐え切れず、2人っきりで精一杯生きていく物語。生きるということの大変さ、大切さを改めて考えさせられます。



2-6 小滝 水音

『天使と悪魔 全2巻』

ダン・ブラウン著

スイスの科学研究所で起きた強盗殺人事件。それはヴァチカンで起きた誘拐事件と深い関係があった。宗教象徴学者のラングドン教授が謎の怪事件を追う！リアルすぎる内容に、最初から最後まで目が離せなくなります！



2-6 藤田 莉奈

『氷菓』 米澤 穂信著

高校1年の折木奉太郎は、古典部に入部する。部には同学年の千反田えるもいた。彼女の強烈な好奇心を発端として、古典部の文集「氷菓」を手掛かりに33年前に起こったとある出来事の真相を推理していくことになるのだった。日常で起こる小さな事件を解き明かすので読みやすいです。



2-7 兼平 武宏

『流星ワゴン』 重松 清著

永田一雄は、仕事も家庭もうまくいかず破滅寸前の状態だったが、ある日、幽霊の橋本親子と出会い、自分の後悔を払拭するため、彼らのワゴン車に乗って、人生の分岐点まで過去に戻るというストーリー。一雄の父が、自分と同じ年になって出て来るが、親子の愛情が感じられるところがいい。



2-10 長塚 一行

『サマーウォーズ』 岩井 恭平著

健二は、憧れの先輩・夏希の田舎で謎の暗号メールを受け取る。数学好きの彼はそれを解読してしまい、OZ(ネットワークの中心)を大混乱に！翌朝一変していた世界を救うため、健二は動き出す。家族の絆がとても熱く、そして綺麗に描かれていて心に響く。

